

いのちのひかり展

～生きとし生けるすべてのものたちへ～

2020年

9月5日(土) ▶ 12月20日(日)

【入館料】

高校生以上 730円

小・中学生 360円

世界を癒す 光の画家

Mariko Takeo (たけお まりこ)

1992年生まれ。

愛をテーマとして絵を描き、世界を平和にしたいと、世界を癒すために活動している。幼いころから、ひとときわ人の感情を感じることに敏感であり、見えない感覚を感じ、そこには色があることを知っていた。

18歳でノルウェーの自然に惹かれ、ノルウェーに留学し、現地の高校にて服飾やデザイン、自然の美しさ、世界の広さを学ぶ。

19歳でギランバレー症候群という難病を経験し、生きとし生けるもの全ては愛おしい存在であるのに、どうして愛おしいはずの者同士で傷つけあう現実があるのかと考えるようになる。主にアクリルを使い作品を制作。表現したいものによっては、鉛筆、水彩なども使用するときもある。

現在はミュージシャン達とライブペイントのコラボをし、デザインの仕事を請け負う。愛はただここにある。それを世界中に伝え行く彼女の旅は続く。

仁摩サンドミュージアム

島根県大田市仁摩町天河内975
TEL:0854-88-3776

【開館時間】 9:00～17:00(受付終了16:30) ※変更の場合あり

【休館日】 毎週水曜日、年末・年始(詳細はHPをご確認ください。)